

電気機器中の絶縁油中PCB検出状況 (1990年～2002年)

PCB混入はないと判断されている1990年以降に製造された
電気機器であっても1.4%程度PCBが検出されています。

(当社分析結果:マニュアル法での分析を行った2010年1月～2012年12月測定分36,665検体中
1990年～2002年製造の6,285検体より)

製造年	濃度(mg/kg)		
	0.1未満	0.1以上0.5以下	0.5超
1990年	1,057	18	6
1991年	855	5	4
1992年	642	8	0
1993年	512	2	4
1994年	527	7	1
1995年	500	0	0
1996年	497	10	2
1997年	445	9	3
1998年	301	4	2
1999年	223	1	0
2000年	242	2	1
2001年	204	1	0
2002年	188	2	0
合計	6,193	69	23

○電気機器製造時に、PCB混入はないとされている電気機器

- 1953年以前に製造された電気機器(PCB国内製造がないため)
- 1990年以降に製造された電気機器(再生絶縁油の製造がないため)

○電気機器製造時に、微量のPCBが混入した可能性がある絶縁油を使用した電気機器

- 1954年から1989年の間に製造された再生絶縁油※1を使用した電気機器
- 1954年から1989年の間に製造された新油絶縁油で、再生絶縁油と製造ライン、貯蔵タンク、タンクローリー等が共用であった新油絶縁油※2を使用した電気機器

○電気機器製造後の保守等における油入替え、つぎ足し等において、
微量のPCBが混入した可能性のある絶縁油を使用した電気機器

- 1989年以前に製造された電気機器で、上記※1、※2、又は※2で1990年以降も流通し、
保守等に使用された新油絶縁油※3を油入替え、つぎ足し等において使用された電気機器
- 1990年以降に製造された電気機器で、※3を油入替え、つぎ足し等において使用された電気機器

1990年以降製造の電気機器でも絶縁油の交換等が原因と思われるPCB検出事例があります。
そこで、環境省・経済産業省では、PCB混入の可能性を完全には否定できない場合には、
PCB混入の可能性の有無について確認することとしています。

※上記データは当社での分析結果をまとめた資料であり、電気機器へのPCB混入状況との照らし
合わせを行ったものではありません。

詳しくは、当社 環境分析部 戸邊、五月女(フリーダイヤル0120-01-2590
内線295、377)までお気軽にお問い合わせ下さい。

